



赤水保育園で木材施設コンクール受賞

昨年8月に新築したYMC A赤水保育園が第14回木材利用大型施設コンクール（熊本県主催）で、見事、最高位の熊本県賞に選ばれました。この賞は、県産木材を利用した優れた施設

を顕彰するもので、県内で20施設の応募がありました。

受賞した熊本YMC A福祉会が建設した赤水保育園の園舎は、阿蘇の大自然に溶け込むような、子どもたちが木材のぬくもり、やさしい手ざわりを実感できるよう木材の特性をふんだんに生かした施設として高く評価されました。（園舎は面積699㎡、7つの保育室、遊戯室など）



▲受賞を喜ばれる熊本YMC A福祉会理事長 堤弘雄氏（左）

「阿蘇くじゅう、互いの魅力を紹介しあい大型観光地へ」



「阿蘇くじゅう」の観光振興を図ったシンポジウムが3月3日、阿蘇プラザホテルで開催されました。主催は阿蘇くじゅう地域デザイン会議（小笠原徹朗代表）で、大分、熊本の両県から約300人が参加しました。現在「阿蘇くじゅう」は国の観光圏整備事業の認定を受け、国内屈指の長期滞在型観光地を目指しており、今回のシンポジウムでは、どうしたら観光客を「連泊したい」という気持ちにさせられるか等が論議されました。観光庁の笹森秀樹氏による

特別講演、(株)JTB常務取締役清水眞一氏による基調講演、また、那覇市で着地型観光情報の配信と体験滞在型観光を展開している中村圭一郎氏など5人によるパネルディスカッションが行われました。

凧づくりで世代間交流

役犬原中央公民館活動（園田晴夫館長）として「子ども会凧づくり教室」が、3月14日、旧役犬原小学校で開かれました。子どもたちにとっては懐かしい小学校での作業とあってワクワクした様子。早速、渡辺照義さんの指導で凧づくりが始まり、凧が完成すると元気に外で凧揚げを楽しみました。その後、地域ボランティアの山部アイ子さん、工藤吹さん、工藤フヂエさん、渡辺スイ子さん、中村クニさんが朝から準備された「ぜんざい」が振舞われ、参加した子ども会30人と保護者、地域の人たちは大喜びでした。

